

1

説明文の出典は最上敏樹『いま平和とは』(岩波新書、2006)です。従来、平和とは戦争がないという意味であったが、従来の平和観が問い直され、社会的平等の実現などが達成されてこそ平和といえる、ということを説いた文章です。

問1

1頁上段 10行目傍線(1)「さいなまれ」の意味を問う問題です。アの「苦しめられる」が正解です。

問2

1頁下段 35行目傍線(2)「構造的暴力論」とある「構造的暴力」の意味を問う問題です。答案の条件、「原因にもふれ」「暴力」という語を用いないことに注意が必要です。1頁上段 31行目「それは社会構造が原因で生み出されている」とあり、また、具体的な被害として貧困、飢餓、差別などをまとめて、「自分の責任によらないことで不利益をこうむること」などと記述します。なお、以下も同様ですが、記述問題では、制限字数の8割以上書く必要があります。

問3

1頁下段 36行目傍線(3)「新たな地平を開く」の意味を問う問題です。傍線の直後、「それまでは「戦争のないこと」が「平和」だとされていたのに対し、戦争がなくとも「平和ならざる状態」がある、という視点」とありますから、傍線部は「平和」に対する見方が変わったということを意味するということがわかりますので、正解はエです。

問4

1頁 58行目傍線(4)「平和の意味がこのように拡張されます」とあるその拡張された「平和の意味」を説明する問題です。「このように」とありますので、前段落に注目し、「構造的暴力のなくなった状態」を中心にまとめます。

問5

1頁下段 63行目傍線(5)「そのとおりです」の説明として最もふさわしいものを選ぶ問題です。傍線部の直前の段落に「非軍事的な問題であるなら、それらは武力では実現できない「平和」なのではないか」とありますので、アが正解です。

問6

2頁上段 77行目傍線(6)「人間の安全保障」を説明する問題です。前の段落に「人間の安全をおびやかす要因というのは実はもっと身近な所にあるのではないか、それを取り除くことが安全保障ということの切実な意味なのではないか」とありますので、それをまとめます。

問7

漢字の書き取り問題は、楷書で丁寧と書く必要があります。

問8

本文の内容に合うものを答える問題です。アは後半の「国連の指導で取り組むべき国際的な重要問題となった」が文章で述べられていないことで、ウは「新たな平和の意味を見つけることが急務となった」が合致せず、エの「世界の非軍事化が推し進められている」も本文にない事柄です。従ってイが正解です。

2

物語文の出典は、佐藤多佳子『サマータイム』（新潮文庫、2003）です。「私」が、つつじの花をつんで道路に置いて作った道しるべを弟の進が自転車で踏みつけたことが原因で起こったきょうだいげんかの後に続く場面です。

問1

4頁上段2行目傍線（1）「私はちょっと分が悪いなと思った。」の理由を問う問題です。選択肢アは「私」がすべて悪いことがすでに知られていると思った。」とありますが、この時点で「私」は自分が悪かったとは思っていないので、不正解です。ウでは「進はいいわけがうまくて」というのが文章にはないことです。エでは「いつも「私」は母から怒られずにすんでいる」というのが文章にはないことです。したがって、正解はイとなります。

問2

4頁上段7行目傍線（2）「まるで言葉をどこかに置き忘れてきたみたいだ。」を説明する問題です。ここは、「母」の問いかけに対して、自分は悪くないと思って、黙ったままの進の様子が描かれていますので、そのことを、設問の条件である「誰の、どのような様子。」という形式に従ってまとめます。

問3

4頁下段29行目傍線（3）「私は進をめいっぱいこづいた。」の理由を説明する問題です。「花」を使用すること」という条件に従う必要があります。5頁上段66行目「進ひとりが花をめちゃくちゃにしたような気持ちかしていた。だから、母が進より私を怒るのがゆるせなかったのだ。」とありますので、ここをまとめます。

問4

4頁下段52行目傍線（4）「いかにも気分よさそうに、にやりとした。」とある箇所に関して、進の気持ちを問う問題です。5頁下段99行目に「頭にきて、ついに花をばらばらにしてしまったのにちがいないのだ。」とありますので、選択肢アの「花びらを細かくする方がきれいに見える」やイの「何とかやりとげ」は合致しません。また、花びらを細かくする作業は時間がかかりますから、エの「とっさに姉に向かって花をまき」というのは矛盾します。したがってウが正解となります。

問5

5頁上段60行目⁵に入る漢字1字を文中から抜き出す問題です。5頁上段71行目に「血のような花ふぶき」とありますので、「血」が正解です。

問6

5 頁上段 73 行目傍線(6)「自分がとてもとても残酷な気がした。」の理由を問う問題です。5 頁上段 68 行目「生きている花をつんだのは私なのに…つつじが死んでいることがわからなかった。」とありますから、進ではなく、「私」こそがつつじの花を殺したということに気がついたので、自分のことを残酷だと思ったのです。

問 7

「ばらばら」のように、慣用的に用いられる同音のくりかえしの表現(擬態語、擬声語)を問う語句問題です。一「からから」、二「さらさら」、三「かんかん」、四「しんしん」、五「すくすく」となります。

問 8

本文の内容に合致するものを選ぶ問題です。イは「私」の命令を誤解して」が誤り、ウは「母の注意を受けて、花をつんだ自分こそが花を殺したと理解し」が誤り、エは「花をわざわざこまかくちぎった進の根気強さに感心したために、ほっとする思いがする。」が誤り。従って、アが正解です。

本校では、明日第 2 回の入試が予定されております。本日同様、**1** 説明文、**2** 物語文の大問 2 題の構成です。説明文では、繰り返し出てくるキーワードに注意しながら論旨を把握すること、物語文では、登場人物の心情を具体的な記述にしたがって読み取ることが、重要です。また、前述のように、記述に際しては 8 割以上書く必要があります。

以上で解説を終わります。ご清聴ありがとうございました。